

# 連邦議事堂への訪問に際して

U.S. CAPITOL

ビジターセンター

www.visitthecapitol.gov

## ドーム修復工事

連邦議事堂ドーム修復工事が、ドームの外側と内側を修復するために進行中です。前回大掛かりな修理が行われたのは1959-1960年だったため、ドームには腐食とひび割れなど風雨や老朽化の影響が出てきていました。

この工事には、歴史的な鋳鉄製部分の修復、外側の耐候性処理、割れた窓の交換、有害物質の除去などが含まれます。工事期間中は足場が必要になるため、議事堂の二階中央部の直径96フィート(29.3メートル)、高さ180フィート(54.9メートル)のドーム付き円形広間であるロタンダ内部に安全ネットが吊るされます。

計画では2017年米国大統領就任式までに、プロジェクトの完了が求められています。



ドーム修復工事の段階によっては一定期間、ロタンダに足場と美術品の保護用資材が設営されることもあります。

## 連邦議事堂と議会

**連邦議事堂**は記念碑であり、オフィスビルとして機能もしており、かつ世界で最も有名な**議会制民主主義**の象徴の一つです。

法案に対する議論と妥協を通じて、**連邦議会**は市民の日常生活に影響する**法律を制定**します。議会は立法プロセスに情報を提供する公聴会を開き、行政府を監視するための調査を行い、連邦政府において国民と州の声を代弁します。

**議会は連邦政府の立法府であり**、米国民を代表し、国家の法律を作成します。議会は、大統領を筆頭とする行政府と連邦最高裁判所を頂点とする司法府と共にその権力を分かち合っています。政府の三権の中で、議会は**国民により直接選挙**される唯一の機関です。



連邦議事堂



下院本会議場



上院本会議場

米国市民でない方も、議事堂ビジターセンターの上の階にある下院・上院アポイントメントデスクで無料の整理券を手入れすれば下院・上院の本会議場を見学することができます。

**第一条は米国憲法**のうち最も長い条項であり、議会の権限を規定しています。議会は、法律を制定し、宣戦布告し、公共資金を調達・供給し、支出の適性を監視し、連邦職員を弾劾裁判し、大統領が指名する人事を承認し、行政府が交渉した条約を承認する権限を持っています。

議会は**下院**と**上院**の二院に分かれています。議会を構成する二院は連邦政府において、対等かつ独自の役割を担っています。

連邦議会の建物は、**新古典主義建築様式**の歴史的建造物です。古代ギリシャとローマに由来するそのデザインは、建国者達が新しい共和国の枠組みを構築するうえで指導理念となった理想を呼び起こすものです。その建物の中には、**米国史**の様々な期間を描写した荘厳な絵画、彫刻、その他の美術品が展示されています。

## 国家の舞台としての議事堂

議事堂は、厳粛な記念式典から興奮をかきたてる7月4日独立記念日のコンサートまで**国家の最も重要な公式行事**の開催場所でもあります。ロタンダでは、荘厳なドームの下に安置された大統領や他の人々の遺体に対して静かに敬意を払うために会葬者が参列してきました。**大統領就任式**は議事堂の西側テラスで挙行され、またここで傑出した個人に**議会の金の名誉勲章**が授与されます。さらに、ドームの傍の敷地は国の最も公的な演壇です、単独の演説者から抗議活動する群衆まで、人々はここに来てその主張を訴えます。



議事堂ビジターセンターは連邦議事堂の正面玄関です。



英語以外の言語の案内書PDFファイルは、[www.visitthecapitol.gov/brochures](http://www.visitthecapitol.gov/brochures)でダウンロードできます。



英語以外の言語の訪問者用案内書は、ビジターセンターで入手可能です。

## 議事堂ツアー

予約—議事堂ツアーは無料です。オンラインの[Advance Reservation System](http://www.visitthecapitol.gov/advance-reservation)、あるいは訪問者サービス課 (202) 226-8000 を通じて、事前に予約することができます。

**議事堂ツアー整理券**—議事堂ビジターセンター到着時に、ツアーを予約済で予約確認あるいは予約番号をお持ちの場合は、下の階の右側にある案内デスクに進んで、議事堂ツアー用整理券を受け取ってください。これはセキュリティのために、貴方がツアーグループの一員であることを識別するために身に付けるステッカーです。

議事堂に到着したものの、事前に議事堂ツアーの時間を予約していなかった場合は、ビジターセンターの下の階の「パブリック・ウォークアップ」の列に進んでください。当日のツアー整理券がまだ残っている可能性があります。訪問者数がピークに達する春や夏の期間には、当日のツアー整理券の数が少なく、長時間待つ必要があることに注意してください。

**注意事項:** 連邦議事堂のツアーは予告なしに中止される場合があります。中止の通知は[www.visitthecapitol.gov](http://www.visitthecapitol.gov)のサイトとソーシャルメディアに掲示されます。

**議事堂ツアーの心構え**—連邦議事堂の全ツアーは、専門のツアーガイドにより英語で行われます。歴史的な議事堂のこのガイド付きツアーは、世界初の真の議会制民主主義を樹立するための米国の闘争の歴史をたどり、連邦議会が置かれている荘厳な建物を紹介する13分間のオリエンテーション映画で始まります。標準的な議事堂ツアーでは、訪問者はクリプト、ロタンダ、国立彫像ホールの順路で案内されます。セキュリティのため、訪問者は全員、ご自分のツアーガイド(赤い上着着用)と常時一緒に行動するよう注意してください。

このオリエンテーション映画の外国語版の音声装置は、議事堂ビジターセンターの案内デスクで要請すれば借りることができます。音声装置の言語は、スペイン語、フランス語、ドイツ語、日本語、標準中国語などです。(音声装置の使用は無料ですが、音声装置の借り受けにはパスポート以外の写真付き身分証明書が必要で、これは音声装置が返却されるまで案内デスクで保管されます。)

訪問者は、ツアーのハイライトを示す順路に沿った議事堂ツアー配布物を、ビジターセンター下の階の案内デスクにて、あるいは議事堂ツアーの開始時に訪問者ガイドから入手することができます。配布物の言語は、アムハラ語、アラビア語、中国語、フランス語、ドイツ語、ヒンズー語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、ベトナム語です。(他の訪問者も利用できるよう、ツアー終了時にはこの配布物をご自分の訪問者ガイドに返してください。)





ツアー整理券(ステッカー)は無料で、議事堂内部のツアーに参加するために必要です。整理券は奴隷解放ホールの案内デスクで入手できます。

議事堂ツアーは13分間のオリエンテーション映画で始まります。映画の英語以外の言語の音声装置は、案内デスクで要請すれば利用できます。他の訪問者の迷惑にならないよう、映画上映の前に携帯電話を消音にしてください。劇場内では写真撮影は禁止されています。



ビジターセンターの中心区域である奴隷解放ホールと奴隷解放ホールにある砂岩の奴隷労働記念マーカーは、議事堂建設で奴隷労働者が果たした役割を認知すべく命名されています。

## 下院・上院ギャラリー

下院・上院ギャラリー—上院・下院ギャラリーについては、そのいずれかの立法機関が会期中の時はいつでも訪問者に開放されていますが、ギャラリーは連邦議事堂ツアーの中には含まれていません。いずれのギャラリー訪問にも整理券が必要です。米国市民が訪問する場合は、上院議員・下院議員の事務所からギャラリーの整理券を入手することができます。外国からの訪問者は、議事堂ビジターセンターの上の階にある下院・上院アポイントメントデスクにお問い合わせすることができます。

上院ギャラリーが開放されているかどうかの情報は、電話(202)224-0057にお問合せください。

下院・上院ギャラリーには、議事堂ビジターセンターの上の階から入ってください。(入口はエスカレータの両側にあります。)



## 展示ホール博物館

展示ホール博物館—展示ホールには、連邦議会の物語を語ることに専念する世界で唯一の展示があります。展示ホールは、議会が機能する仕組み、議事堂と議会の歴史についての詳細、下院議員と上院議員に関する情報を訪問者に提供するために、文書の原本、遺物、ビデオ、触れることが可能な模型、コンピュータ対話型、および二つの小劇場を備えています。入口はビジターセンターの下の階、自由の彫像の大きな白い石膏製模型の背後にあります。

**日本語** > JAPANESE

U.S. CAPITOL  
ビジターセンター  
www.visitthecapitol.gov

**連邦議事堂ツアー**

連邦議事堂ようこそ

**ツアーの一般情報**

- 歴史的な連邦議事堂におけるガイドツアーは、ここ数年で最も人気のある観光ツアーの一つとして知られています。
- 連邦議事堂を含む連邦政府の建物に、ツアーの開始時刻が厳格に守られています。
- ツアーにはさまざまな種類のツアーがあります。一部のツアーは、連邦議事堂の歴史や建築について詳しく説明します。
- ツアーの間、乗車や徒歩を必要とする場合があります。事前に確認してください。
- 連邦議事堂にはエレベーターがあります。連邦議事堂ビルにはエレベーターが設置されています。
- 連邦議事堂ビルにはエレベーターがあります。連邦議事堂ビルにはエレベーターが設置されています。

**連邦議事堂ツアーの予約**

連邦議事堂ツアーの予約は、連邦議事堂ビジターセンターのウェブサイト [www.visitthecapitol.gov](http://www.visitthecapitol.gov) から行うことができます。

**連邦議事堂ツアーの料金**

連邦議事堂ツアーの料金は、連邦議事堂ビジターセンターのウェブサイト [www.visitthecapitol.gov](http://www.visitthecapitol.gov) から確認することができます。

**連邦議事堂ツアーの予約**

連邦議事堂ツアーの予約は、連邦議事堂ビジターセンターのウェブサイト [www.visitthecapitol.gov](http://www.visitthecapitol.gov) から行うことができます。



順路に沿ったツアーの配布物の英語以外の13カ国語版は案内デスクと訪問者ガイドから入手できます。ツアー開始前にお尋ねください。



奴隷解放ホールの入口は、自由の彫像の大きな白い石膏製模型の背後側にあります。この模型から制作された自由の彫像の青銅製彫像が議事堂ドームの上を飾っています。

**特別活動**—ビジターセンターでは、特別ツアー、講演、家族向けプログラムも頻繁に催されています。こうした催しは「今週の議事堂ビジターセンター」というチラシ、ウェブサイト [www.visitthecapitol.gov](http://www.visitthecapitol.gov)、およびソーシャルメディアを通じて英語で発表されます。

## 訪問者向け情報

**開館時間**—議事堂への訪問者向け玄関口である議事堂ビジターセンターは、感謝祭、クリスマス、元日、米国大統領就任式の日などの祝日を除く、月曜日から土曜日までの午前8時30分から午後4時30分まで開館しています。議事堂への最終ツアーは毎日午後3時20分です。

**訪問者用入口**—訪問者用入口は、議事堂の東側の地階、最高裁判所と議会図書館トーマス・ジェファーソン・ビルから通りを隔てたファースト・ストリートとイースト・キャピトル・ストリートの交差点にあるイーストフロント・プラザの下にあります。セキュリティと検査プロセスが義務づけられており、また訪問者数がピークに達するときの長い待ち時間の可能性もあるため、ご自分のツアー開始時刻の少なくとも45分前に到着すること、かつ議事堂で禁止されている物品の持ち込みを避けることをお勧めします。

**セキュリティ**—議事堂訪問者に対する方針は、訪問者とスタッフの安全と安心を確保し、未来の世代にわたって所蔵品、施設、歴史的建造物、敷地を保全するという目的です。

議事堂ビジターセンターに入る前に、全訪問者は磁力計による検査を受け、建物への持ち込みを許される全物品はX線装置による検査を受けます。

## セキュリティ検査

議事堂への訪問者は全員、セキュリティ検査を通過しなければなりません。

次の物品は議事堂ビジターセンターを含む議事堂への持ち込みが厳格に禁止されています。



- 水を含む液体
- 果物や開封されていない包装された食品を含むあらゆる種類の食品
- 幅18インチ(45センチ)、高さ14インチ(35センチ)、深さ8.5インチ(21.25センチ)より大きいバッグ
- エアゾール噴霧器の容器
- 非エアゾール式噴霧器(医療用の処方薬は許容されます。)
- 銃、模造銃、電気式スタンガン、弾薬、花火
- あらゆるサイズのナイフ
- メースと唐辛子スプレー
- 武術用武器または器具
- 剃刀とカッターナイフ





運動障害のある方や手動式車椅子を使用している方向けのシャトルサービスは、議事堂の敷地で利用できます。



レストランはビジターセンターの下の階にあります。



ビジターセンターの上の階にギフトショップが2カ所あります。

一部の物品は議事堂ビジターセンターを含め議事堂への持ち込みが厳格に禁止されています。5ページ目の囲みの記述または[禁止品目](#)をご参照ください。

禁止品目が育児・医療その他の特殊なニーズに必要で、必須だと判断される場合には、連邦議事堂警察は例外措置を講じる権限を持っています。バッグは連邦議事堂警察の検閲を受けねばなりません。

**アクセス**—訪問者は赤色のチョッキまたは上着を着ている議事堂ビジターセンターのスタッフに、あるいは正面玄関の中側の携帯品一時預かり所で車椅子を要請できます。車椅子を借りるには、パスポート以外の写真付きIDが必要です。携帯品一時預かり所は毎日4時15分に閉まります。

事前に予約すれば、ツアーの手話通訳が提供されます。

映画と展示を英語音声で説明する音声装置を案内デスクで借りることができます。全ての映画には英語の字幕が付いています。案内書は奴隷解放ホールの案内デスクで入手でき、点字、大きい活字、html書式もあります。

運動障害のある方や手動式車椅子使用の方は、シャトルサービスを議事堂の敷地で利用できます。シャトルバスは、インディペンデンス・アベニューとファースト・ストリート南西区角のキャピトルスクエアから議事堂のイーストプラザ中央の議事堂ビジターセンター入口まで運行しています。

議事堂ビジターセンターのトイレは全てバリアフリーになっています。

**議会アクセス可能性事務所**に連絡の場合は(202)224-4048(音声)または(202)224-4049(TYY)にご連絡ください。

**写真撮影**—ビジターセンターにカメラを持ち込むことは許されています。しかし、展示ホールでの写真撮影は、展示されている原本の歴史的文書を保護するために厳格に禁止されています。議事堂ツアーの最初にあるオリエンテーション映画の上映中は写真撮影は禁止されています。議事堂ツアーのクリプト、ロタンダ、国立彫像ホールでは写真撮影は認められています。



議事堂の西側フロントはナショナルモールに面しています。



「私の議事堂」は展示ホールの学生向けセルフガイドで、議事堂と議会についての歴史的背景、活動、議論を刺激するための質問を含んでいます。父兄や教師は「私の議事堂」をビジターセンターの上の階にある北側携帯品一時預かり所で受け取ることができます。[PDF版はオンラインで入手できます。アップ・ストア、グーグル・プレイ](#)で「私の議事堂」のアプリを入手できます。この小冊子は全て英語版です。

## 連邦議事堂ビジターセンター

レストラン—レストランは下の階にあり、月曜日から土曜日までの午前8時30分から午前11時までコンチネンタル朝食、午前11時から午後4時まで昼食を提供しています。米国の多様な産物を反映した作りたてのスープ、サラダ、特製料理、ピザ、サンドイッチ、デザート、飲み物があり、レストランで購入できます。

ギフトショップ—ギフトショップは上の階にあり、月曜日から土曜日まで午前9時から午後4時30分まで営業しています。ギフトショップは議事堂の美術と建築の貴重品に啓発されたユニークな品揃えの商品、楽しく教育にいい贈り物、書籍、宝石類、他の場所では手に入らないような面白い特別デザイン製品を取り揃えています。

## 追加情報

(以下の資料は英語です。)

### アプリ

[apps.visitthecapitol.gov](https://apps.visitthecapitol.gov)

議事堂ビジターセンターのロタンダ・アプリを使えば、訪問者は次のことができます：

- 360度画像によりロタンダのバーチャルツアーを行う
- ロタンダにある彫像と絵画各々について学ぶ
- ロタンダ天井のフレスコ画を間近に細かく見る
- ロタンダで行われる式典の種類について学ぶなど。

議事堂ビジターセンターの他のアプリには、訪問者ガイド、議事堂の州彫像ガイド、青少年向け資料「私の議事堂」などがあります。全て [アップ・ストア](#) と [グーグル・プレイ](#) で入手可能です。

### ソーシャルメディア

[Twitter@visitthecapitol](https://twitter.com/visitthecapitol)

[連邦議事堂ユーチューブ・チャンネル](#)

[フェイスブックの連邦議事堂ビジターセンター](#)





奴隷解放ホールや議事堂全体にある彫像は米国の多様性と米国市民による貢献を表しています。

## 有益なリンク

(次のウェブサイトは英語です。)

連邦議事堂ビジターセンター: [www.visitthecapitol.gov](http://www.visitthecapitol.gov)

議事堂建築監: [www.aoc.gov](http://www.aoc.gov)

連邦上院: [www.senate.gov](http://www.senate.gov)

連邦下院: [www.house.gov](http://www.house.gov)

議会図書館: [www.loc.gov](http://www.loc.gov)

米国立植物園: [www.usbg.gov](http://www.usbg.gov)

最高裁判所: [www.supremecourt.gov](http://www.supremecourt.gov)

スミソニアン: [www.smithsonian.com](http://www.smithsonian.com)



議会図書館のトーマス・ジェファーソン・ビルにある大ホール



米国立植物園